2014年度建築情報処理ＩＩ（Information Processing for Architecture II）[1C12]

教室：A-1411　　担当教員：久田嘉章（前半）、山下哲郎（後半）

＜授業のねらい及び具体的な達成目標＞

本演習では、地震動や建物の地震応答の解析法、およびMS-Excelを用いた構造解析手法を学び、建築の構造・設計に関わる高度な情報処理技術を習得します。

＜授業計画及び準備学習＞

久田担当

第１回　ガイダンス　ガイダンス（授業計画の説明など）9/22

第２回　地震応答解析１　1質点系の振動解析、地震応答解析 9/29

第３回　地震応答解析２　2質点系の振動解析、地震応答解析 10/6

（10/13 体育の日）

第４回　地震応答解析３　地震応答スペクトル、気象庁震度 10/20

第５回　地震応答解析４　波形のフーリエ変換・逆変換・フィルター処理 10/27

第６回　実験・解析１　微動・人力加振実験、およびデータ解析１ 11/3（振替休日）

第７回　実験・解析２　微動・人力加振実験、およびデータ解析２ 11/10

山下担当

第８回　マトリクス法による骨組構造解析１　ベクトルとマトリクスの基礎と演算 11/17

第９回　マトリクス法２　マトリクス法の基本概念と多自由度バネ系の解析 11/24

第10回　マトリクス法３　平面トラスの解析 12/1

第11回　マトリクス法４　立体トラスの解析 12/8

第12回　マトリクス法５　平面ラーメンの解析 12/15

第13回　マトリクス法６　立体ラーメンの解析 12/22（天皇誕生日）

両者担当

第14回　学習成果の確認　 1/7

第14回　レポート課題の提出 1/19

＜成績評価方法及び水準＞

出席40％、レポート60％で評価し、60点以上の者に単位を認める。

＜教科書・参考書＞

授業時に適宜配布

＜オフィスアワー＞

月曜日～金曜日　18:00～19:00　ただし事前に予定を確認のこと。

＜学生へのメッセージ＞

・受講を希望する学生は建築情報処理1、線形代数学を受講しておくことが望ましい。

・演習で利用するPC台数の関係上、受講者数の制限を設けます。受講者は60名とします。

・第1回目のガイダンスにて受講者数の確認を行いますので、必ず出席してください。欠席した場合には履修を認めませんので、注意してください。

・受講者が60名を超える場合には3年次前期までの評定値をもとに受講者を決定しますので、受講できないこともあります。